# ACSES ニュースレター_２００９号（2021 年１月６日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（10 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇その他の事故、事件
・病院長に「お前がやめろ」　旭川医大学長発言を国が調査〈新聞報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟
・暴走事故、身を守るためにできること〈Web 報道〉
□大災害、原発事故対策
[東日本大震災]
[福島原発事故]
・震災の海がれき、490 トン超　19 年度以降に漁業者回収〈Web 報道〉
・原発事故からことしで 10 年 廃炉 地元の復興に道筋は〈放送報道〉
・「原発事故、起こるべくして起きた」東電元エースの告白〈新聞報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇新型コロナ 都立高校で初のクラスター 生徒ら 45 人感染確認〈放送報道〉
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇大学等関係
・厚労省 看護系大学に教員や大学院生の派遣を要請 医療現場の人手不足受け〈放送報道〉
◇マスコミ報道　見出し
[3] 医薬品
◇医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令（政令第１号）〈官報〉
◇租税特別措置法施行令第二十六条の二十七の二第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める一般用医薬品等の一部を改正する件（厚生労働省告示第１号）〈官報〉
[4] その他省庁発表　　１件
[5] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
[開催案内]　　２件　　[開催記録、報告、資料等]　　２件
[6] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：20 件　　◇その他：１件
[付録]
◇ワクチン「打つか」で大論争！　パニック恐れて公表されない「コロナ感染は 1%以上」という衝撃データ〈Web 報道〉

春の七草

**********

[1] ***化学物質関係事故、事件関係***

◇***その他の事故、事件***

・病院長に「お前がやめろ」　旭川医大学長発言を国が調査

＜朝日新聞　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP146JTSP14IIPE01N.html

旭川医科大学病院（北海道旭川市）での新型コロナウイルスの患者受け入れを巡り、大学の吉田晃敏学長が受け入れの許可を求めた同院の院長に、「その代わりお前がやめろ」などと発言したとされる問題で、大学を所管する文部科学省が、発言の事実確認を行っていることが分かった。同省国立大学法人支援課は「事実であれば、ハラスメントにあたる恐れがある」と問題視している。

旭川市では昨年 11 月 6 日に吉田病院でクラスター（感染者集団）が発生。寝たきりの高齢患者が多かったため転院を急がなければならず、市内 5 カ所の基幹病院で協議し、旭川医大病院で 1 人を受け入れることになった。

同院の古川博之院長は朝日新聞の取材に対し、協議の結果を吉田学長に伝え、患者を受け入れる許可を求めたが、同院は主に重症者の担当だったことから、「大学が受け入れる対象ではないと言われた」と証言した。また、面談して再び許可を求めた際は、「受け入れてもいいが、その代わりお前がやめろと言われた」と証言していた。

国立大学を所管する文科省国立大学法人支援課は、朝日新聞の取材に対し、「学長が職員に対してそのような発言をしたことが事実だとすれば、ハラスメントととられかねない。大学の事務局を通じ、学長に発言をしたのかどうかを確認している」と回答。発言を問題視し、調査していることを明らかにした。

・「コロナまき散らす」発言で釈明文書　旭川医大学長

＜朝日新聞　2020 年 12 月 17 日＞

https://www.asahi.com/articles/ASNDK64GLNDKIIPE01H.html?oai=ASP146JTSP14IIPE01N&ref=yahoo

新型コロナウイルスの感染拡大が続く北海道旭川市で、旭川医科大学の吉田晃敏学長がコロナ対応の医療体制を巡り不適切な発言をしたと「文春オンライン」が 16 日報じた。大学側は 17 日、発言があったことは認め、「関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけした」としたうえで「(音声の) 切り取られ方が本学、特に吉田学長の意図とかけ離れたものと言わざるを得ない」などとするコメントを出した。

文春オンラインによると、吉田学長はクラスター（感染者集団）が発生した市内の吉田病院について、11 月 17 日にあった学内の会議で「コロナを完全になくすためには、あの病院（吉田病院）が完全になくなるしかない、ということ」「この旭川市に吉田病院があるということ自体が、ぐじゅぐじゅ、ぐじゅぐじゅとコロナをまき散らして」などと発言したとされる。文春オンラインは吉田学長のものとされる音声データも公開した。

これを受け、旭川医大は 17 日に吉田学長名でコメントを公表。「音声は大学運営会議でのものと認められます」と認めたうえで、「『なくなるしかない』といった私の発言は、吉田病院の閉鎖等を望むことを意味するものではありません」「なくなるしかないのは、吉田病院ではなく、吉田病院の新型コロナウイルス感染症です」などとし、「不適切な発言であったと深く反省しています」とした。

「まき散らす」という発言については、吉田病院からコロナ患者を受け入れた他の病院で「院長自らが『医療崩壊』という激しい言葉で現状を語る事態に陥っていることを説明した際に使われた表現」などと説明している。

文部科学省国立大学法人支援課は朝日新聞の取材に対し、「大学に対し、学長の発言の事実確認を進めており、結果を踏まえて対応を検討する」としている。

吉田病院では 11 月初めにクラスターが発生し、入院患者や職員の間で感染が拡大。今月 17 日時点で計 207 人が感染する大規模クラスターとなっている。鈴木直道知事の災害派遣支援の要請を受け、今月 9 日には自衛隊の看護官ら 5 人が治療の支援に入った。

---

◇***事故・事件対策、措置、訴訟等***

・暴走事故、身を守るためにできること

タクシー運転手の平均年齢 60 歳 渋谷タクシー暴走事故にみる暴走車両から身を守るためには

＜くるまのニュース　2021 年 1 月 5 日＞　https://kuruma-news.jp/post/332669

---

□*大災害、原発事故対策*

[東日本大震災]

[福島原発事故]

・震災の海がれき、490 トン超　19 年度以降に漁業者回収

＜共同通信　2021 年 1 月 3 日＞

https://news.yahoo.co.jp/articles/b8d1e465a37f98186d9e55e7bb15c9c72b3c4bbf

---

・原発事故からことしで 10 年 廃炉 地元の復興に道筋は

＜NHK　2021 年 1 月 4 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210104/k10012795561000.html

福島第一原子力発電所の事故からことし 3 月で 10 年を迎えます。「燃料デブリ」の取り出しやトリチウムを含んだ水の扱いなど難しい問題を抱える中、国と東京電力は廃炉とともに地元の復興にどんな道筋をつけることができるのか問われる 1 年となります。

福島第一原発では最大の難関とされる溶け落ちた核燃料、いわゆる「燃料デブリ」の最初の取り出しをことし、2 号機で始める予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でイギリスでのロボットの開発が遅れ、先月、1 年程度遅れる見通しを発表しました。

また 1 号機から 3 号機には今も使用済み燃料プールに核燃料が残され、3 号機ではおととし 4 月から取り出しが始まり、ことし 3 月までに作業を終えたいとしていますが、機器のトラブルでたびたび作業が中断し計画どおりに完了するか注目されます。

さらに、汚染水を処理したあとに残るトリチウムなどの放射性物質を含む水がたまり続けていて、政府は処理について「早期に方針を決定していく必要がある」としていますが、地元からは風評被害を懸念する声が根強くあります。

国と東京電力には長期にわたる廃炉作業とともに、地元の復興にどんな道筋をつけることができるのか問われる 1 年となります。

---

・「原発事故、起こるべくして起きた」東電元エースの告白

＜朝日新聞　2021 年 1 月 5 日＞

https://www.asahi.com/articles/ASNDS2HMPNC5ULFA036.html?iref=comtop_7_05

**********

[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*

[状況]

◇省庁発表

・新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(1 月 4 日各自治体公表資料集計分)

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15856.html

・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（空港検疫）

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15861.html

・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和 3 年 1 月 5 日版）

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15863.html

・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、空港検疫事例）を更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00210.html

・国内の発生状況について更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html

・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00016.html

---

◇新型コロナ 都立高校で初のクラスター 生徒ら45人感染確認
＜NHK　2021年1月4日＞
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210104/k10012796651000.html?utm_int=all_side_ranking-access_003
東京都内の都立高校で、生徒41人を含む合わせて45人が新型コロナウイルスに感染していることが確認され、この学校は休校しています。都の教育委員会によりますと、都立学校でクラスターが発生したのは初めてです。
クラスターが発生したのは、東京23区内にある都立高校です。
都の教育委員会によりますと、この高校では、先月26日から今月3日までの間に1年生から3年生の生徒41人と教職員など4人の合わせて45人の感染が確認されたということです。
生徒の多くは2つの運動部に所属していて、このうち1つの部は、都外で行われる大会のため遠征中でしたが、部員の感染が明らかになったため出場を取りやめました。
感染確認を受けて、学校では、4日から今月8日まで休校とし授業や部活動をすべて休止するとともに、保健所から濃厚接触者とされた生徒らの検査を順次行っているということです。
都立学校でクラスターが発生したのは初めてで、教育委員会は改めて都立学校に対し、感染防止対策を徹底するよう呼びかけることにしています。
---

**◇マスコミ報道　見出し**
・コロナ感染者、地球人口の1%に　欧米で猛威8000万人突破
＜京都新聞　2021年1月4日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/460504
・国内感染２４万５９３６人　死者は３６４５人―新型コロナ
＜時事ドットコム　2021年1月4日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021010400260&g=soc&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
・コロナ感染後 自宅で体調急変などして死亡 全国で122人 警察庁
＜NHK　2021年1月6日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210106/k10012798701000.html
---

[対策・予防]
**◇省庁発表**
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました
＜厚生労働省　2021年1月5日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
・自治体・医療機関向けの情報一覧（事務連絡等）（新型コロナウイルス感染症）を更新しました
＜厚生労働省　2021年1月5日＞
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00088.html
---

◇職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド（第３版）
＜一般社団法人日本渡航医学会・公益社団法人日本産業衛生学会　2020年8月11日＞
https://www.sanei.or.jp/images/contents/416/COVID-19guide0811koukai.pdf
---

◇新型コロナウイルス感染症ハンドブック
―家庭における感染予防対策―
＜SOMPOリスクマネジメント株式会社　2020年7月＞
https://image.sompo-rc.co.jp/infos/coronavirusdisease-2019-infection_control_home.pdf
---

**◇ワクチン、検査薬、治療薬等**
・英大学開発のワクチン接種始まる　欧米3例目、日本にも供給
＜共同通信　2021年1月4日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/f988dda426cbacdb5f8e4cde2ed1e3dbdef2086f

・インド、国産ワクチンを承認　新型コロナ、途上国供給にも期待
＜共同通信　2021 年 1 月 3 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/ee973c01c8fe2c2fe7198a5028721c0e007df030
・英国でワクチン接種方法めぐり論争
＜NNN　2021 年 1 月 4 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/e862c5d0a2f9aeac992978c6ba78e85b36893667
・製薬企業の利益に賛否　コロナワクチン販売で
＜時事通信　2021 年 1 月 3 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021010300213&g=int
・「護送船団」で開発力低下　国産ワクチンが出遅れたわけ
＜朝日新聞　2021 年 1 月 6 日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP1572WTNDQULFA034.html?iref=comtop_7_02
・ワクチン「打つか」で大論争！　パニック恐れて公表されない「コロナ感染は 1%以上」という衝撃データ
＜NEWS ポストセブン　2021 年 1 月 3 日＞
https://news.infoseek.co.jp/article/postseven_1624749/?p=1

--→ *末尾［付録］*

---

**◇大学等関係**

・厚労省 看護系大学に教員や大学院生の派遣を要請 医療現場の人手不足受け
＜ANN　2021 年 1 月 5 日＞　https://news.yahoo.co.jp/articles/2a5dfbe03a7f4ebd87eff15752be2c7e9301d36a
　新型コロナウイルスの感染拡大で、医療現場での人手が不足していることから、厚生労働省は看護系大学に対し教員や大学院生を現場に派遣するよう要請していることがわかった。
　各地の医療機関ではクラスターの発生などで看護師が不足し、通常の診療にも影響が出始めている。この状況を受け厚生労働省は先月、看護系大学約 280 校に対し、看護師免許を持つ教員や大学院生を現場に派遣するよう要請を出した。
　派遣先は新型コロナウイルスの患者を受け入れている病院や療養施設などを想定していて、賃金は医療機関や都道府県から支払われる予定だ。

---

・「一斉休校は要請せず」文科相が表明　共通テストも予定通り実施
＜毎日新聞　2021 年 1 月 5 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210105/k00/00m/040/051000c

---

**◇マスコミ報道　見出し**

・政府 7 日にも首都圏の 1 都 3 県に「緊急事態宣言」出す方向で調整
＜NHK　2021 年 1 月 5 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210105/k10012797021000.html
・ステージ 3 相当まで「1 カ月未満では至難の業」尾身会長
＜朝日新聞　2021 年 1 月 5 日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP1577GRP15ULBJ00J.html?iref=comtop_7_03
・英、イングランド全域をロックダウン　コロナ変異株感染拡大で　学校も休校に
＜毎日新聞　2021 年 1 月 5 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210105/k00/00m/030/049000c
・新型コロナ、急激悪化で死亡事例も　自宅で療養する場合の注意点は
＜京都新聞　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/460140
・東京の感染者数シミュレーション 十分に減少させるには
＜NHK　2021 年 1 月 5 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210105/k10012798521000.html
　「飲食店の制限だけでは1ヶ月で感染者は減らない」 8割はおじさんが厚労省“非公開”のシミュレーションを公開
＜BuzzFeedJAPAN　2021 年 1 月 5 日＞
https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/emergency-declaration-nishiura-1

**********

[3] ***医薬品等***

◇医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令（政令第１号）

［官報］ 令和３年１月５日　号外　第２号　2～16 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20210105/20210105g00002/20210105g000020002f.html

あらまし

一　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令の一部改正関係

１　保管のみを行う製造所に係る登録に必要な規定を整備することとした。　（第一六条の二～第一六条の七関係）

２　医薬品等外国製造業者の保管のみを行う製造所に係る登録に必要な規定を整備することとした。　（第一八条の六～第一八条の一一関係）

３　医薬品等区分適合性調査の実施に必要な規定を整備することとした。　（第二二条第一項、第二三条、第二六条の二～第二六条の六、第二七条第二項及び第二七の二関係）

４　医薬品等変更計画確認手続制度の実施に必要な規定を整備することとした。　（第三二条の二～第三二条の六関係）

５　再生医療等製品区分適合性調査の実施に必要な規定を整備することとした。　（第四三条の二四第一項、第四三条の二五、第四三条の二九～第四三条の三三及び第四三条の三五関係）

６　再生医療等製品変更計画確認手続制度の実施に必要な規定を整備することとした。　（第四三条の四一～第四三条の四四関係）

７　課徴金対象行為者である法人が消滅した場合の課徴金納付命令の実施に必要な規定を整備することとした。（第六七条の三～第六七条の八関係）

８　輸出用医薬品等及び特例承認医薬品等について、注意事項等情報に係る特例の規定を整備することとした。（第七四条第二項、第七四条の二第二項、第七四条の三第二項並びに第七五条第五項、第一三項及び第一四項関係）

９　輸出用医薬品等について、医薬品等を特定するための符号の容器への表示その他の措置に係る特例の規定を整備することとした。（第七四条第二項、第七四条の二第二項及び第七四条の三第二項関係）

二　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係手数料令の一部改正関係

１　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）により、国又は独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「機構」という。）が手数料を徴収する業務が追加されたことに伴い、新たな手数料の区分及び額を定めることとした。（第三条の二、第六条の二、第八条の二、第九条の二、第九条の三、第二四条の二、第二四条の三第二九条、第三〇条、第三二条第五項及び第六項、第三二条の二、第三二条の三、第三六条第五項及び第六項、第三七条並びに第三八条関係）

２　手数料のうち実地調査手数料について見直すこととした。（第三二条第七項及び第八項並びに第三六条第七項及び第八項関係）

三　国の債権の管理等に関する法律施行令の一部改正関係

課徴金納付命令に係る課徴金及び延滞金について、国の債権の管理等に関する法律の適用除外とすることとした。（第三条第一一号関係）

四　登録免許税法施行令の一部改正関係

保管のみを行う製造所に係る登録について、登録免許税を課する範囲を定めることとした。（第一五条第三項並びに第九項第三号及び第六号関係）

五　独立行政法人医薬品医療機器総合機構法施行令の一部改正関係

改正法により、新たに機構の業務に追加され た業務のうち、手数料を徴収しないものを定めることとした。（第一条第五号、第六号、第九号及び第一八号関係）

六　武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律施行令の一部改正関係

避難住民等に対する医療の提供のために必要な医薬品等について、注意事項等情報に係る特例の規定を整備することとした。（第二二条関係）

七　厚生労働省組織令の一部改正関係

改正法の施行に伴い、医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課の所掌事務を追加することとした。（第五四条第五号関係）

八　施行期日

この政令は、改正法附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日（令和三年八月一日）から施行することとした。ただし、次に掲げる事項は、それぞれ次に定める日から施行することとした。

１　四（「同項第三号」を「同項第四号」に改める部分に限る。）及び六（「第四三条の三〇の」を「第四三条の三六の」に改める部分及び 「第四三条の三〇第三号」を「第四三条の三六第三号」に改める部分を除く。）公布の日

２　一の９改正法附則第一条第三号に掲げる規定の施行の日（令和四年一二月一日）

［詳報］------→ 次号 掲載

---

◇租税特別措置法施行令第二十六条の二十七の二第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める一般用医薬品等の一部を改正する件（厚生労働省告示第１号）

［官報］　令和３年１月４日　本紙　第 404 号　７頁

https://kanpou.npb.go.jp/20210104/20210104h00404/20210104h004040007f.html

**○厚生労働省告示第１号**

租税特別措置法施行令（昭和三十二年政令第四十三号）第二十六条の二十七の二第二項の規定に基づき、租税特別措置法施行令第二十六条の二十七の二第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める一般用医薬品等（平成二十八年厚生労働省告示第百七十八号）の一部を次の表のように改正する。

令和３年１月４日　　厚生労働大臣　　田村　憲久

（傍線部分は改正部分）

| 改　正　後 | 改　正　前 |
|---|---|
| 租税特別措置法施行令（昭和三十二年政令第四十三号）第二十六条の二十七の二第二項の規定により厚生労働大臣が定める一般用医薬品等は、次に掲げるもの、その水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤（第七十三号に掲げるベタメタソン吉草酸エステル、その水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤については、ベトネベートクリームＳ及びベトネベートＮ軟膏ＡＳを除く。）とする。 | 租税特別措置法施行令（昭和三十二年政令第四十三号）第二十六条の二十七の二第二項の規定により厚生労働大臣が定める一般用医薬品等は、次に掲げるもの、その水和物及びそれらの塩類を有効成分として含有する製剤とする。 |
| 一～七十二　　（略） | 一～七十二　　（略） |
| 七十三　ベタメタソン吉草酸エステル | （新設） |
| 七十四～八十八　（略） | 七十三～八十七　（略） |

**********

[4] *その他省庁発表*

◇経済産業省の会計手続に係る押印・書面の見直しについて（令和３年１月から適用）

＜経済産業省　2021 年１月５日＞

https://www.meti.go.jp/information_2/downloadfiles/20201225001.pdf

**********

[5] *関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等*

[開催案内]

・第 93 回コーデックス連絡協議会の開催及び一般傍聴について　　１月 19 日

＜厚生労働省　2021 年１月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15473.html

＜消費者庁　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/022583/

（1）コーデックス委員会の活動状況

ア 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・第 43 回コーデックス総会（CAC）

イ 今後の活動について

・第 32 回一般原則部会（CCGP）

（2）その他

・日本産業標準調査会標準第一部会第 13 回保安技術専門委員会　　1 月 18 日

＜経済産業省　2021 年 1 月 5 日＞

https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/36705

---

**[開催記録、報告、資料等]**

・国立大学法人等施設整備に関する検討会（令和 2 年度）（第 4 回）　配付資料

12 月 11～14 日、持ち回り

＜文部科学省　2021 年 1 月 4 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afxGacwkfAgpv0bH

1. 令和 3 年度予算案及び令和 2 年度補正予算案における国立大学法人等施設整備事業の選定の考え方（案）について
2. 令和 3 年度予算案及び令和 2 年度補正予算案における具体的な事業案一覧について
3. 附属病院トリアージスペース整備事業について
4. 令和 2 年度当初予算における追加事業について
5. その他

・国立大学法人等施設整備に関する検討会（令和 2 年度）（第 4 回）議事要旨

＜文部科学省　2021 年 1 月 4 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afxGacwkfAgpv0bI

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/057/siryo/1421253_00001.htm

**********

[6] ***その他***

◇***インフルエンザ、感染症関係***

・埼玉県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について（野鳥国内 25 例目）

＜環境省　2020 年 12 月 31 日＞　https://www.env.go.jp/press/108922.html

・岐阜県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 34 例目）について

＜環境省　2021 年 1 月 2 日＞　https://www.env.go.jp/press/

・岐阜県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内 34 例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

＜農林水産省　2021 年 1 月 2 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210102_6.html

・岐阜県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内 34 例目）の遺伝子解析及び NA 亜型の確定について

＜農林水産省　2021 年 1 月 3 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210103_4.html

・岐阜県における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 34 例目）に伴う愛知県内の野鳥緊急調査の結果について

＜環境省　2021 年 1 月 5 日＞　http://www.env.go.jp/press/108939.html

・岐阜県における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 34 例目）に伴う岐阜県内の野鳥緊急調査の結果について

＜環境省　2021 年 1 月 5 日＞　http://www.env.go.jp/press/108937.html

・奈良県における高病原性鳥インフルエンザウイルス検出（野鳥国内 23 例目）に伴う野鳥緊急調査の結果について

＜環境省　2021 年 1 月 5 日＞　http://www.env.go.jp/press/108938.html

・宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 33 例目）について
＜環境省　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.env.go.jp/press/108928.html
・宮崎県における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 33 例目）に伴う野鳥緊急調査の結果について
＜環境省　2021 年 1 月 5 日＞　http://www.env.go.jp/press/108936.html
---
・大分県佐伯市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 20 例目）に係る移動制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 1 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210101_6.html
・宮崎県宮崎市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 24 例目）に係る搬出制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 1 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210101.html
・岡山県美作市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 22 例目）に係る搬出制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 1 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210101_7.html
・奈良県五條市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 16 例目）に係る移動制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 2 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210102.html
・広島県三原市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 17 例目）に係る搬出制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 2 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210102_5.html
・和歌山県紀の川市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 21 例目）に係る移動制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 3 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210103.html
・岡山県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス検査陽性事例（野鳥国内 10 例目）に係る野鳥監視重点区域の解除について
＜環境省　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.env.go.jp/press/108932.html
・兵庫県での高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 10 例目）に係る野鳥監視重点区域の解除について
＜環境省　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.env.go.jp/press/108931.html
・宮崎県宮崎市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 30 例目）に係る搬出制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210104_1.html
・滋賀県東近江市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 23 例目）に係る移動制限の解除について
＜農林水産省　2021 年 1 月 5 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210105.html
---

・ドイツからの家きん肉等の一時輸入停止措置について
＜農林水産省　2021 年 1 月 4 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210104.html
ドイツのザクセン州（Sachsen）の繁殖がちょう農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8 亜型）の発生が確認された旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。
OIE への通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和 2 年 12 月 29 日（火曜日）、同州からの家きん肉等、家きん卵等の輸入を一時停止しました。
---

◇*その他*
・“高・専”の連携強化　文科省、プログラム策定へ
＜共同通信　2021 年 1 月 5 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/601b4b9dab7d4e81c6d29d453e3f01c36da741b5
　高校と、高卒者の 2 割ほどが進学する専門学校の連携を強化するため、文部科学省は一貫教育プログラムの策定に乗り出す。5 日、同省関係者への取材で分かった。医療や介護、調理など職業に直結する教育をする専門学校に目的が定まらないまま進み、学習意欲を維持できないケースがあった。高校段階から進学後を見通したカリキュラムで、将来の職業選択につなげたい考えだ。
　2021 年度に全国 16 カ所を選び、高校と専門学校の連携についての実証事業を開始。21 年度当初予算案に関連経費として約 4 億円を計上した。
**********

[付録]

◇ワクチン「打つか」で大論争！　パニック恐れて公表されない「コロナ感染は1%以上」という衝撃データ

＜NEWS ポストセブン　2021 年 1 月 3 日＞　上記［2］関係

https://news.infoseek.co.jp/article/postseven_1624749/?p=1

2021 年も、まずは国民の最大の関心事はコロナ禍をどう克服するかだろう。欧米ではすでにワクチン接種が猛烈な勢いで進められており、その効果に期待が集まっているが、実際に効果があるのか、重篤な副反応などは出ないのかがはっきりするには、数か月から数年かかると見られている。

『週刊ポスト』（2021 年 1 月 4 日発売号）では、国民の意見が真っ二つに割れている 22 のテーマについて、それぞれ専門家が異なる立場から主張を展開している。そのなかで、コロナワクチンを接種すべきか、まだ様子見すべきかを論じ合ったのが、ナビタスクリニック理事長で一般社団法人医療ガバナンス学会代表理事の久住英二氏（接種派）と、新潟大学医学部名誉教授の岡田正彦氏（様子見派）だ。それぞれ傾聴に値する視点で論じているが、打つか打たないかとは別に、両氏は取材で国民が知らないコロナの真実をいくつも明らかにしていた。この記事では、本誌に収録できなかった、注目すべき両氏の指摘を紹介する。

久住氏は、接種を勧める根拠のひとつとして、実は国内の感染者は報道されている、あるいは国民が思っているよりずっと多いことを挙げた。

「私が聞いた話では、都内中心部の医療機関では、2020 年 12 月現在、PCR 検査の陽性率は 1%近いそうです。また、世田谷区が独自に実施している介護施設などの職員を対象とした PCR 検査の陽性率は、同 12 月前半で 1.46%になっています。連日、報道では東京都の感染者が〇百人などとされていますが、それはあくまで検査で新たに判明した数であって、実際の感染者は何倍もいることが確実です。上記のような陽性率 1%超という情報も、公表してしまうと国民がパニックになりかねないから公表されないのです」

一方で久住氏は、多くの国民が勘違いしているもうひとつの数字について指摘した。

「新型コロナに限らず、『死亡率』といった場合に、発症した患者における死亡者の比率（CFR）を指すことと、無症状を含む感染者における死亡者の比率（IFR）を指すことがあります。当然、IFR のほうが母数が大きいから、比率は CFR より低くなります。ところが、日本では無症状の人まで幅広く検査していないので、正確な IFR がわからない。だから、報じられている『死亡率』というのは CFR のことで、当然、死亡率が高いように感じてしまうのです」

つまり、国民が思っているよりコロナの感染者は多く、そして死亡率は低いというわけだ。それに対し、接種慎重派の岡田氏は、ワクチンにまつわる 2 つの懸念を指摘した。

「ひとつは重大な副反応として懸念されているアナフィラキシーショックです。他の医療行為でも起きることであり、コロナワクチンで起きる危険性は高くないという意見があることは承知しています。しかし、これは幼い子供と高齢者に圧倒的に多いのに、メーカー各社の治験では子供は対象にされておらず、高齢者のデータも非常に少ないから、アレルギー体質の人は打つべきではないのです。

もうひとつはワクチンに対する過信です。ワクチンを打っても感染率が下がる（可能性がある）だけで、感染を完全に防げるわけではない。ワクチンを打てば安心だという意識が広がると、基本的な感染予防を怠って逆効果になる可能性があります。『俺はワクチンを打ったから安心だ』と、予防対策なしに飲食や旅行をする人が増えると、今よりもっと感染が広がる悲劇が起きます」

そのうえで岡田氏は、ウイルスとの戦いはワクチンなしでも終わると語る。

「ワクチンに頼らなくても、新型コロナが今後 5 年も 10 年もはびこる可能性はほぼありません。過去、人類は何度もパンデミックに襲われていますが、どれも必ず、ワクチンなどなくとも収束しています。ウイルスは宿主である人間がいなければ生きられないのだから、人類を滅亡させないという自然法則があるのです。根絶にはかなりの時間がかかるとは思いますが、今回も必ずパンデミックは収束します」

専門家でも意見が割れるテーマだけに、両論に耳を傾けて慎重に判断したいが、まだまだコロナについて我々が知らないこと、知らされていないことが多くあるというのは、決して良いことではないだろう。

********** 以上 **********